

科目区分	専門分野	授業科目	老年看護援助論演習
講師名	小林 真弓	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	2年次 第1学期
授業概要 * 講師からのメッセージ	1年次の共通基本技術(看護過程の基礎)での学びを土台に、加齢による機能低下など老年期の特徴をふまえて看護過程を展開することを学ぶ授業です。 成人・老年看護学実習 I(対象理解/看護過程の展開)につながります。		
目的:健康障害を持つ高齢者の看護過程の展開方法を理解する 目標:1. 健康問題を持った老年期の状態をアセスメントできる 2. それぞれの健康状態に応じた日常生活への援助方法を計画できる			
回	授業内容	授業方法	
1	事例提示 疾患の理解(糖尿病のある脳梗塞患者)	講義	
2	老年期および回復期の理解 1)健康レベルにある対象の状況 2)患者看護に求められる能力 3)看護過程の展開の意義・目的 4)データベースを活用した情報収集の意味 5)情報(生活・健康・家族歴)聴取の進め方	講義 演習	
3	回復期の情報収集の視点 1)回復期の患者の状態を判断し解剖生理学の視点から情報を分析していく必要性 2)患者の状態変化に応じた分析とは 3)理論を用いた情報分析 4)座標を用いて情報の関連を理解する	講義 演習	
4	情報分析と計画立案(ゴードン機能的健康パターン 看護診断 NANDA-Iを活用) 1)健康認識・健康管理 2)栄養・代謝 3)排泄 4)活動・運動 5)睡眠・休息 6)認知・知覚 * 情報収集内容 ・アセスメント内容 ・看護計画の実施と修正	演習 グループワーク	
5	情報分析と計画立案(ゴードン機能的健康パターン 看護診断 NANDA-Iを活用) 7)自己知覚・自己概念 8)役割・関係 9)生・生殖 10)コーピング・ストレス 11)価値・信念 * 情報収集内容 ・アセスメント内容 ・看護計画の実施と修正	演習 グループワーク	
6	発表と振り返り 1)どんな情報収集が適切だろうか 2)アセスメントと看護計画について	発表 ディスカッション	
7(45分)			
評価方法	看護過程の展開:課題レポート80%、受講状況(出席・態度・提出物)20% 評価基準参照		
テキスト	医学書院:系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院:系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論		
備考			